



1 故郷はどちらですか？

カリフォルニア州ロサンゼルスです。野球はあまり見ませんが、日本人から「大谷翔平選手が活躍するドジャースの本拠地の人」と見られるのは面白いです。

2 日本に来て感じたことは？

リーマンショックの影響でアメリカ経済が不安定だった約15年前に、アニメや漫画を扱う会社をやめて、留学生として来日しました。当初は日本のアニメの「ハイテンション」な主人公の印象を日本人に抱いていましたが、実際にきてみると、人々はとても「静かでシャイ」なことに驚きました。

3 川崎の住み心地は？

練馬、福岡を経て、2016年から川崎に住んでいます。どこに行くにも交通の便がよく、仕事場の渋谷など都会も近い一方で自然も感じられるバランスの良さが気に入っています。

4 YouTuberになろうと思ったきっかけは？

福岡に住んでいた時、暇つぶしで日本の生活を紹介するブログのような動画をアップし始めました。ところが、最新映画の感想を予告編のように投稿すると、登録者が一気に増えていきました。自分の「好き」を共有する「価値」に気づき、単なる趣味から本格的なビジネスへと発展させました。

5 YouTuberとして大切なことは？

最も大切にしているのは「トレンド（流行）」です。話題になっていることを常にチェックします。例えば、新作映画は初日の初回到観で、ロビーで編集し、すぐに動画をアップするようなスピード感を重視しています。

YouTubeがきっかけで、ある会社から声をかけられてプレゼンターとしても活躍しています。自分自身の「好き」がビジネスにつながったことが、何よりの達成感です。



©Prime1 Studio

6 投稿しているポップカルチャー(注1)について

アニメや漫画は「芸術的表現」であり、作り手が感情や夢を込めた美しい物語を伝える手法だと考えています。作品の細部にまで宿る美しさと、進化していく表現力に魅力を感じています。

(注1) 現代社会において、多くの人々に受け入れられ、日常生活に深く根付いている文化。アニメ、漫画、映画、音楽、テレビ、ファッションなど。

7 国や地域による視聴者の傾向と対策

アメリカでは英語への「吹き替え」が圧倒的に好まれますが、ヨーロッパやオーストラリア、アジアでは「字幕」で見える方も多くですね。文化や国民性の違いによって、同じ作品でも受け止め方が違うので工夫が必要です。

特に、日常を扱った日本的な作品は、海外の視聴者には感情移入がしにくく、グローバルな広がりに限界を感じます。逆に「友情・努力・勝利」や「ヒーローと悪の戦い」といった普遍的なテーマを持つ作品は、文化的な背景への知識がなくても直感的に理解できるため、世界中で共感を呼びやすいと言えます。

今や日本のアニメや漫画は、「日本のもの」というより、国境を超えて世界中で親しまれています。どの国の人が見ても楽しめる「グローバルな物語」としての地位を確立していると思います。

8 ソーシャルメディア(注2)のスターになるには何が必要ですか？

ひと言で言えば…「忍耐」と「努力」です。技術は必要ですが、まずは、スマートフォンから配信を始めるだけでも十分です。しかし、本当の挑戦は、いきなり大金を稼ぐことを期待せず、やりたいことを見つけ、多くの時間を注いで努力し続けることです。

毎日、さまざまなコンテンツに新しいスターが生まれています。重要なポイントは集中して諦めないこと。そして、最も重要なのは私生活を犠牲にしないことです。

(注2) インターネットを通じて、誰もが手軽に情報を発信し、相互にやり取りできるメディア。SNS、ブログ、YouTube等も含む。

9 読者へのメッセージ

好きなこと、楽しいと思うことを追求してください。趣味をビジネスにするのは簡単な道ではありませんが、その先には大きなやりがいと喜びが待っています。日本のYouTubeは、お金もうけよりもリアルな日常を見せる傾向が良い点ですね。お金に惑わされず、これからも純粋な情熱を大切にしてほしいです。

※アイズイクさんのYouTubeのチャンネル
<https://www.youtube.com/@Akasan>



アイズイクさんとインタビューの正一ボランティア